

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	300	160	
	総合ビューティ学科	夜・通信	234	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a> で公開する
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a> で公開する
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	旅行会社 相談役	令和3.4.1 ～ 令和6.3.31	企画
非常勤	取締役営業本部長	令和3.4.1 ～ 令和6.3.31	コンプライアンス
非常勤	一般企業 支店長	令和3.4.1 ～ 令和6.3.31	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師法に基づき美容師養成施設に関する美容師免許証の取得の為、所定の学科・実習授業科目、授業時間、成績評価に準ずる。</li> <li>・8月、3月頃に編成委員会において審議</li> <li>・授業計画の変更があった場合、年度末までに厚生労働省に提出</li> <li>・年度初めにホームページにて公表</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a> で公開する
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師法に基づき美容師養成施設に関する美容師免許証の取得の為、所定の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。</li> <li>・科目修得の認定は試験によるものとし、試験は原則として学期末に、その履修科目について筆記、レポート、実技などの適切な方法によって行う。</li> <li>・成績の評価は、A・B・Cを合格とし、Dは不合格とする。</li> <li>・評価にあたっては、所定の点数が充たされていない場合は不合格とする。</li> </ul>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修科目の成績評価を点数化し全科目の合計点で各学年の順位を算定する。</li> <li>・学期末試験を行い、履修科目の成績評価を点数化し、合計点で各学年の順位付けを実施。1/4以下の学生に対して、個別指導や三者面談を実施し、成績を促す。</li>   <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価</li> <li>・A (80点以上)・B (60点～79点)・C (40点～59点)・D (不合格)</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a> で公開する
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師免許証取得、資格検定所得を到達目標とし、所定の就業年限(2年)以上在学し、所定の授業科目及び所定の授業時間数(2010時間)を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていること。</li>   <li>・資格検定所得を到達目標とし、所定の就業年限(2年)以上在学し、所定の授業科目及び所定の授業時間数(1800時間)を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていること。</li>   <li>・学校教育法(昭和22年法律第26号)及び美容師法(昭和32年法律163号)に基づき、美容に関する知識・技能を修得させ、あわせて社会人としての教養と、豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a> で公開する

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a>
財産目録	学校事務局備え付け・閲覧、入手方法・コピー配布可
事業報告書	学校事務局備え付け・閲覧、入手方法・コピー配布可
監事による監査報告（書）	学校事務局備え付け・閲覧、入手方法・コピー配布可

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 単位時間/単位	660 単位時間 /単位		1170 単位時間 /単位		210 単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
228人		145人	0人	14人	8人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 美容師法に基づき美容師養成施設に関する美容師免許証の取得の為、所定の学科・実習授業科目、授業時間に準じカリキュラムを構成している。
成績評価の基準・方法
（概要） ・美容師法に基づき美容師養成施設に関する美容師免許証の取得の為、所定の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。 ・学期末試験、出席状況、授業態度による点数評価及び課題提出物の評価。 ・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価 ・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～59点）・D（不合格）
卒業・進級の認定基準
（概要） ・所定の授業科目及び所定の授業時間数を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていることが進級の認定条件。（進級時 970時間） ・所定の就業年限（2年）以上在学し、所定の授業科目及び所定の授業時間数を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていることが卒業の認定条件。（卒業時 2040時間）

<p>学修支援等 (概要) 1/4以下の学生に対して、個別面談や三者面談等の指導を実施する。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
63人 (100%)	0人 (0%)	63人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容室、美容業界			
(就職指導内容) 1年次の10月から3月にかけて、校内ガイダンス開催。就職活動のための資料公開 (求人票、昨年の求人データ)			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格の受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
148人	12人	8.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学習意欲の低下、企業等への就職、進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 美容通信課程への進路変更、学生に対してのカウンセリング。保護者を交えての三者面談。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	総合ビューティ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	396 単位時間 /単位		204 単位時間 /単位		1200 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		32人	0人	14人	8人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきメイク、ネイル、ジェルネイル、エステティックの基礎・応用技術など学び、メイク、ネイル、ジェルネイル、エステティック資格検定取得を目指し、社会常識・コンピュータ活用能力・ビジネスマナー関連知識などの幅広い知識についても学び、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成を目的としたカリキュラムを構成している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験、出席状況、授業態度による点数評価及び課題提出物の評価。</li> <li>・成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して、100点満点、40点以上を合格とする素点による評価</li> <li>・A（80点以上）・B（60点～79点）・C（40点～59点）・D（不合格）</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の授業科目及び所定の授業時間数を履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていることが進級の認定条件。（進級時970時間）</li> <li>・所定の就業年限（2年）以上在学し、所定の授業科目及び所定の授業時間数と履修していること。また、学期末試験において所定の授業科目の修得が認定されていることが卒業の認定条件。（卒業時1800時間）</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>1/4以下の学生に対して、個別面談や三者面談等の指導を実施する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容業界			
(就職指導内容) 1年次の10月から3月にかけて、校内ガイダンス開催。就職活動のための資料公開 (求人票、昨年の求人データ)			
(主な学修成果(資格・検定等)) AEA上級エステティシャン・JNECネイリスト技能検定3級 MSOJメイクアップ検定2級の受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	2人	5.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学習意欲の低下、企業等への就職、進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生に対してのカウンセリング。保護者を交えての三者面談。		



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容学科	150,000 円	600,000 円	741,000 円	その他 (実習費・施設設備費・教材費・学生研修費・保険料等)
総合ビューティ学科	150,000 円	600,000 円	711,000 円	その他 (実習費・施設設備費・教材費・学生研修費・保険料等)
学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a> で公開する		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校の学校評価は、本校が自らの教育活動、その他の学校運営について、組織的、継続的な改善を図り、その説明責任を果たすこと、及びそれによって、企業等からの理解と参画を得て、その連携協力による教育を推進することにより、職業教育の水準の維持向上が図られることを期して行うものである。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
茨城県美容業生活衛生同業組合 監事	令和2年7月1日～ 令和7年3月31日	団体役員
タカラベルモント株式会社 北関東理美容営業所 所長	令和2年7月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
株式会社ティーエムプロジェクト 代表取締役	令和2年7月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
堤理美容商事株式会社 代表取締役社長	令和2年7月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a> で公開する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.mito.ac.jp/">https://www.mito.ac.jp/</a> で公開する
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H108320100130
学校名	専門学校水戸ビューティカレッジ
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		27人	26人	27人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	14人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				27人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期	
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）		0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人	0人
計		0人	0人	0人
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間		前半期	0人 後半期 0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

令和4年度

〈美容科〉

履修科目の成績評価を点数化し全科目の合計点で各学年の順位を算定する  
(100点満点で点数化)

学科名	美容科	学年	1	学生数	83名
-----	-----	----	---	-----	-----

成績 分布

指標の数値	50点未満～	60点～	70点～	80点～	90点～	100点
人数	12	17	27	27	0	0

下位1/4に該当する人数	21名
下位1/4に該当する指標の数値	55点以下

令和4年度

〈総合ビューティ学科〉

客観的な指標の算出方法

履修科目の成績評価を点数化し全科目の合計点で各学年の順位を算定する  
(100点満点で点数化)

学科名	総合ビューティ学科	学年	1	学生数	19名
-----	-----------	----	---	-----	-----

成績の分布

指標の数値	50点未満～	60点～	70点～	80点～	90点～	100点
人数	0	1	4	11	3	0

下位1/4に該当する人数	4名
下位1/4に該当する指標の数値	76点以下

令和4年度

〈美容科〉

履修科目の成績評価を点数化し全科目の合計点で各学年の順位を算定する  
(100点満点で点数化)

学科名	美容科	学年	2	学生数	63名
-----	-----	----	---	-----	-----

成績 分布

指標の数値	50点未満～	60点～	70点～	80点～	90点～	100点
人数	0	8	25	28	2	0

下位1/4に該当する人数	15名
下位1/4に該当する指標の数値	64点以下

令和4年度

〈総合ビューティ学科〉

客観的な指標の算出方法

履修科目の成績評価を点数化し全科目の合計点で各学年の順位を算定する  
(100点満点で点数化)

学科名	総合ビューティ学科	学年	2	学生数	15名
-----	-----------	----	---	-----	-----

成績の分布

指標の数値	50点未満～	60点～	70点～	80点～	90点～	100点
人数	0	1	4	10	0	0

下位1/4に該当する人数	3名
下位1/4に該当する指標の数値	53点以下

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(衛生専門課程 総合ビューティ学科) 令和5年度																
分類			実務 経 験	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択							講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			○	メイクアップⅠ	メイクアップ概論、形態学、色彩、スキンケア、ベースメイク、アイメイク、リップメイクなどの基礎知識を修得する。	1 通	180		△		○	○		○		○
○			○	メイクアップⅡ	イメージメイク、ブライダルメイク、映像メイク、舞台メイクなど応用メイクの知識、技術を修得する。	1 通	90		△		○	○		○		○
○			○	トレンドメイク	メイクアップ応用。印象別イメージメイク、モデルに合わせたメイクアップとそのアドバイス法を習得する。	1 通	90		△		○	○		○		○
○			○	ネイル・ケアⅠ	ネイルケア、カラーリング、フラットアート、リペアなどの基礎知識、技術を修得する。	1 通	180		△		○	○		○	○	○
○			○	ネイル・ケアⅡ	アクリルネイル(エンボスアート、3Dアート等)、ジェルネイルの技術を修得し、卒業作品を制作する。	1 通	180		△		○	○		○	○	○
○			○	エステティック 技術Ⅰ	ボディ、フェイシャル、脱毛の基礎知識、接客対応、ボディトリートメント等を修得する。	1 通	240		△		○	○		○		
○			○	エステティック 技術Ⅱ	カウンセリングやエステ機器を使用した、ボディ、フェイシャル等の応用技術を修得する。	1 通	240		△		○	○		○		
○			○	エステティック 学科Ⅰ	エステティック概論、皮膚科学、解剖生理学、運動生理学、栄養学、化粧品学、関連法規、衛生消毒、救急法について学習する。	1 通	36		○			○		○		
○			○	エステティック 学科Ⅱ	エステティック電気学、機器学、カウンセリング、サロンマネジメント、東洋西洋のセラピー、脱毛学、について学習する。	1 通	72		○			○		○		
○			○	美容総合技術Ⅰ	まとめ髪、アップスタイル等の基礎技術を修得する。	1 通	90				○	○		○		
○			○	美容総合技術Ⅱ	着付けの身だしなみ、作法等を修得する。	1 通	54				○	○		○		
○				コンピュータ 実習Ⅰ	ワープロソフトを使用して、ビジネス文書の作成から簡単なポスター作成までを学習する。	1 通	30				○	○			○	

(衛生専門課程 総合ビューティ学科) 令和5年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○				コンピュータ実習Ⅱ	表計算ソフトを使用して、四則演算、関数を用いての演算、グラフの作成などを学習する。	1通	30			○	○				○	
○			○	色彩学	色の分類、見え方、感情、色名などの基礎を学習する。	1通	36		○			○				○
○			○	ビジネス実務	企業から求められる人物像、社会人として身に付けるマナー、知識を中心に、職業観、勤労観を学習する。	1通	36		○			○				○
○			○	社会福祉	サービス介助の考え方をもとに相手の立場に立ったおもてなしを学ぶ。	1通	18		○		△	○				○
○				アロマセラピー	アロマセラピーの歴史、利用法、精油についての基礎知識、プロフィールについて学習する。	1通	36		○			○				○
○				コスメ	化粧品に対する知識、肌悩みに応じた化粧品やメイク方法の基礎知識を学習する。	1通	18		○			○				○
○			○	ビューティカウンセリング	様々なケースに対応できるカウンセリングスキル、会話力、対応力をロールプレイやディスカッションを通じ学習する。	2通	72		○			○				○
○			○	デザイン	顔のプロポーション、顔の部分・顔の描き方、角度の変化による顔形、いろいろな描き方によるイメージの違いを学習する。	1通	18		○			○				○
○				LHR	・検定対策 ・連絡事項 ・学生指導等	2通	54		○			○				○
合計				21 科目		1632 単位時間 ( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：定められた履修時間、1800 時間をすべて履修する。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業時間	20 週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。  
実務経験のある教員等による授業科目(省令で定めた相当分)合計 234 時間



実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(衛生専門課程 美容学科) 令和5年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○				関係法規・制度	美容師になるために必要な、法規として、法制度の概要、衛生行政の概要、美容師法、その他の関連法規について学習する。	2通	30		○			○		○		
○			○	衛生管理Ⅰ	美容の業を通して、公衆衛生の維持と増進への責務の重要性を学習する。 サロンで行われている衛生措置を把握させ、公衆衛生の重要性を学習する。	1通	50		○			○		○	○	
○			○	衛生管理Ⅱ	微生物の種類、増殖と環境への影響について学習する。又、人体の免疫や、病原菌と人体の感受性を学び、感染症対策について学習する。	1通	40		○			○		○	○	
○			○	美容保健	人体の構造及び機能を学び、理解させる。又業務上、刃物や薬品を使用するため、皮膚や毛髪に関する知識が必要なるため、皮膚やその付属機関に関する知識を学習する。	2通	90		○			○		○		
○			○	化粧品化学	物理の分野では、熱、光、電気等で美容師が使用する器具や用具に関連する知識、化学の分野では化粧品を中心に学習する。	2通	60		○			○		○		
○			○	美容文化論	日本や海外の美容ファッションの変遷、流行について学び、また、服飾の歴史、衣服の種類なども学び美容業との関連性を学習する。	2通	60		○			○		○		
○			○	美容技術理論	美容用具の適切な管理や使用方法、美容技術については技術を理論的に説明できるように学ぶ。また、施術前のカウンセリングなども学習する。	2通	150		○			○		○		
○				美容運営管理	美容師として必要な接客の役割や心構え、マーケティングや経営者として必要な経営管理、労務管理、健康管理を学習する。	2通	30		○			○		○		

(衛生専門課程 美容学科) 令和5年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			○	美容実習	ワインディング、オールウェーブ、カットの基本技術から、サロンワークに必要なシャンプー、カラー、ブローなどの技術を修得する。	2通	900			○	○		○			
	○			コンピュータ実習Ⅰ	ワープロソフトを使用して、ビジネス文書の作成から簡単なポスター作成までを学習する。	1通	30			○	○				○	
	○			コンピュータ実習Ⅱ	表計算ソフトを使用して、四則演算、関数を用いたの演算、グラフの作成などの学習をする。	1通	30			○	○				○	
	○			まつ毛エクステンション	基本のまつ毛エクステンション基礎知識・技術・施術をする上での注意点等を修得する。	1通	30		△	○	○			○		
	○		○	社会福祉	社会福祉、社会保障制度、社会福祉と事業の仕組み、社会福祉専門事業者等について学習する。	1通	30		○	△	○				○	
	○		○	日本文化	日本髪の種類、特徴を理解させ、その歴史やファッション史についても学習する。また、和服についても着付けを通して、美しさを引き立てるための技術を学習する。	1通	30		○		○			○		
	○		○	美容 カウンセリング	「相談の基礎知識」、「人間の心の働きや仕組みの基礎知識」、「カウンセリングの基礎技法」、「カウンセリングの練習」などを学び、また自己理解を深め、自分の精神衛生管理もしっかりできるようになることが学習目的である。	1通	30		○		○			○		
	○		○	ビジネス実務	企業から求められる人物像、社会人として身に付けるマナー、知識を中心に、職業観、勤労観を学習する。	2通	60		○		○			○		
	○			エステティック 技術	フェイシャルハンドマッサージ、エステ機器を使って吸引技術、パターマッサージを修得する。	1通	60			○	○			○		
	○			メイク・アップ	スキンケアからベースメイク、アイメイクを学び、一人ひとりに合わせたパーソナルメイクを学習する。	2通	60		△	○	○			○		

(衛生専門課程 美容学科) 令和5年度																
分類			実務経験	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			ネイル・ケア	ネイルケア、カラーリングなどの基礎技術から、ネイルチップでネイルアートを修得する。また爪の構造、病気等の衛生面についても学習する。	2通	60		△		○	○		○		
	○		○	ヘアー・デザイン	雑誌、写真集などを参考にして、トレーシングペーパーに書き、デッサンについて学習する。	1通	60				○	○		○		
	○		○	美容総合技術	サロンでの接客や接遇マナーを学習する。また、シャンプーのロールプレイングなどを通して、必要な技術、知識を修得する。	2通	150		○		△	○		○		
合計				21 科目		1710 単位時間 ( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：定められた履修時間、2010 時間をすべて履修する。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業時間	20 週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。  
実務経験のある教員等による授業科目(省令で定めた相当分)合計300時間

## 【実務経験のある教員等による授業科目】

教科目名	エステティック学科 I	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験 9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	エステティック概論、皮膚科学、解剖生理学、栄養学、ボディ実技理論、フェイシャル実技理論		
年間授業時間数	36 時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきエステティックの基礎・応用技術、知識を学び資格検定取得、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各種検定取得の目標達成のため所定の単位の修得を行っている。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
2 時間	1. エステティック概論	・エステティックの概念や歴史、産業としての規模と方向性、将来性、エステティックに関連する法律、業界の取り組むべき課題とその具体的な事例などを総合的に学習し理解する。	●自分の関わっていく業界について歴史、将来性などを理解する。関連する法律について学び、遵守することの大切さを学ぶ。	※日本エステティック業協会 ※エステティック概論テキスト
10 時間	2. 皮膚科学	・皮膚の構造・皮膚の生理機能及び臓器と栄養素との関係性・肌老化や疾患などを理解しトリートメントの際に対応できる知識を身につける。	●エステティックを施す際に必要な肌の基礎知識を学ぶ。皮膚の構造・生理機能を学ぶことで、エステティックの基本原則である「スキンホメオスタシス（皮膚の恒常性維持機能）」を高めることを理解する。	※皮膚科学テキスト
6 時間	3. 解剖生理学	・人体を構成する細胞、組織、器官、器官系について学びそれぞれの特徴や働きを理解する。筋肉の仕組み、免疫システム、アレルギーなどの仕組みを理解する。	●人の身体に触れて施術をする上で必要な基本的知識の習得をする。人体の構造と働きの基本を理解しエステティックサービスが正しく効果的に且つ安全に行えるようにする。	※解剖生理学テキスト
6 時間	4. 栄養学	・代謝の仕組み、栄養素について理解する。5 大栄養素、3 大栄養素とその働きを理解する。基礎代謝量、摂取エネルギー量について理解し、体重管理が行えるようにする。	●食物の栄養素と健康の関係を学び、エステティック施術に役立つアドバイスができるようになる。又、各項目をより深く熟知することで、お客様とのコミュニケーションを深め、エステティック効果を高められるようにする。	※栄養学テキスト

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
5 時間	5. ボディ実技理論	・ボディマッサージを行うにあたり、エステティシャンとしての心得を理解する。 6つの基本手技、手法、効果をそれぞれ理解する。	●ボディトリートメントを行う上でそれぞれのトリートメントの基本手技、目的、効果、禁忌事項を理解する。	※ボディ実技理論テキスト
5 時間	6. フェイシャル実技理論	・フェイシャルトリートメントの大きな3つの構成（クレンジング・機器トリートメント・マッサージ）を理解し、肌に合わせた施術の流れの構成の必要性を理解する。	●お客様の肌分析に基づき対応力のある施術とアドバイスができるエステティシャンを育てる。	※フェイシャル実技理論テキスト
2 時間	7. 期末試験	・一年次に学ぶべき基礎知識を中心に出题（前期・後期）	●基礎知識をどのくらい理解できているか把握させる。	
年間授業時間数				36 時間

## 【実務経験のある教員等による授業科目】

教科目名	色彩学	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験 10 年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	色の表示、光と色、色彩心理、色彩調和、ファッション、インテリア等の知識		
年間授業時間数	36 時間		
到達目標	AFT 色彩検定協会 色彩検定 3 級取得、および色彩の知識と技能を社会生活で役立てること		
成績評価の方法・基準	出席：30%、授業態度および課題提出：20%、期末試験：50%による総合評価		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
4 時間	1. 色を表す方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>色に関する基礎知識（イントロ）</li> <li>色相環（マンセル、PCCS）</li> <li>トーン図（PCCS）</li> <li>色を言葉で表す方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色に興味を持ってもらう</li> <li>覚えなければいけない図（マンセル、PCCS 表色系）の確実な習得</li> </ul>	
4 時間	2. 色と光	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の正体（：光）と光の性質 視覚のしくみ（目の構造、視細胞）</li> <li>色の見え方と照明（光源）の関係</li> <li>混色について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物理学、生理学、医学の知識が必要となる難解な部分。できるだけ分かりやすく、記憶に残るように指導</li> </ul>	
4 時間	3. 色と心理	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の持つ心理的効果</li> <li>様々な視覚効果（色が起こす現象）</li> <li>様々な知覚的効果（錯視）</li> <li>生活の中での色の働き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活に大きく関わりを持っている色の効果。それを知識として覚えるだけでなく、実生活で実践できるように指導</li> </ul>	
4 時間	4. 色の調和と効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>色相とトーンによる配色（カラーコーディネーション）</li> <li>様々な配色テクニックと効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色彩検定で最も大切となる「配色」。続く「ファッション」「インテリア」の配色の基本ともなる。確実に基本を押さえる</li> </ul>	
6 時間	5. 色とファッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファッション業界・ファッションビジネスの基本</li> <li>ファッションカラーコーディネーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●AFT 色彩検定協会の母体はファッション関連組織。検定試験でも問題数では最多の部分。配色に重点をおいて指導</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	6. 色とインテリア	<ul style="list-style-type: none"><li>・ インテリアカラーコーディネーションの方法</li><li>・ インテリアと色彩効果</li><li>・ インテリアの色彩検討</li></ul>	● 実生活でも活用できる「実用性の高い」領域。興味を引き出しながら記憶に残るように指導	
11 時間	7. 色彩検定・過去問題対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 直前の集中過去問題演習</li></ul>	● 色彩検定には「傾向と対策」がある。多くの過去問にあたることで、それを感得させる	
年間授業時間数				36 時間

## 【実務経験のある教員等による授業科目】

教科目名	エステティック学科Ⅱ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	心身生理学、化粧品学、サロンでの衛生・消毒、エステティック関連法規、サロンマネジメント、エステティックカウンセリング理論		
年間授業時間数	72時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきエステティックの基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各種検定取得の目標達成の為所定の単位の修得を行っている。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
10時間	1. 心身生理学	・ホメオスタシス(恒常性維持機能)の仕組みを具体的に理解する。自律神経、免疫系、内分泌系の仕組みと働きを理解し、生体環境へのストレスについて考える。	●心と脳、神経との関わり、ストレスと食欲の関係、肥満との関連。肌に対しての影響を考え、実際にお客様へのアドバイスにつなげられるようにする。	※日本エステティック業協会 ※心身生理学テキスト
3時間	2. 化粧品学	・医薬品医療機器等法を理解した上で化粧品、医薬部外品の役割と定義を理解する。化粧品に含まれる成分を理解する。	●エステティック技術を行うにあたり化粧品原料・成分の特徴効果の知識を深め、肌状態に合った化粧品に関するコンサルテーションができるようになる。	※化粧品学テキスト
3時間	3. サロンでの衛生・消毒	・公衆衛生について歴史を含め理解する。エステティック業で行われる消毒と滅菌について理解し消毒方法全般に関する理解を深める。	●エステティシャンにとっての衛生管理の必要性を理解し、実践できるようにする。	※サロンでの衛生・消毒テキスト
2時間	4. エステティック関連法規	・エステティック契約、施術に関連する様々な法律を学ぶ。日本エステティック振興協議会策定の「エステティック業統一自主基準」を理解する。	●エステティック業に従事するために、関連する法律の基礎知識を学び、エステティックの安心・安全の社会的意義と、その重要性を理解し、コンプライアンス(法令等の遵守)の意識を育てる。	※エステティック関連法規テキスト
3時間	5. サロンマネジメント	・サロン運営における業務の流れや、商品説明のロールプレイング、お客様の目に留まるPOP作成などの実践をする。	●エステティシャンの接客に必要なホスピタリティマインド(おもてなしの心)を育てる。	※サロンマネジメントテキスト



時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
10 時間	6. エステティックカウンセリング理論	・エステティックサロンにおけるカウンセリングと心理学カウンセリングの違いを理解し、エステティシャンがアドバイスする行為をコンサルティングとして理解する。	●心理的カウンセリングの手法と、コンサルティングのアドバイスの要素をふまえたエステティックカウンセリングの全体を理解し、お客様の心に響くエステティックカウンセラーとしての意識を育てる。	※エステティックカウンセリングテキスト
39 時間	7. A E A 上級認定エステティシャン筆記試験対策	・ J E O 認証 A E A エステティシャン認定試験例題集の全問解説	●全問解説をし、反復練習をさせる。	※日本エステティック業協会テキスト全巻 ※ J E O 認証 A E A エステティシャン認定試験 例題集
2 時間	8. 期末試験	・ J E O 認証 A E A E エステティシャン認定試験と同範囲	● A E A 上級認定エステティシャン取得の為。	
年間授業時間数				72 時間

## 【実務経験のある教員等による授業科目】

教科目名	トレンドメイク	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
担当教員	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	・メイクアップ応用・印象別イメージメイク・モデルに合わせたメイクアップとそのアドバイス法		
年間授業時間数	90時間		
到達目標	幅広いメイクアップの応用を学び、技術を習得させる		
成績評価の方法・基準	実技・提出物・出席状況を総合としてA(80点以上) B(60点~79点) C(40点~59点) D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	1.メイクアップにおける色、形、質感の表現	・色の三属性、イメージトーン、混色 ・メイクアップを表現する質感 ・形に錯覚、イメージ ・造形理論	●視覚的に例をあげ、美しさの演出に活かせるようイメージづくりの方法を学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	2.メイクアップの応用(イメージメイクアップの理論)	・イメージ別メイクアップ(キュート・セクシー・エレガント・クール)	●印象別イメージメイクについて学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	3.イメージメイクアップ②(セクシー)	・セクシー編(色っぽい大人の女性の印象)	●セクシーに見せるための化粧品の質感、色、フォルム、強さ、それぞれのテクニックを学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	4.イメージメイクアップ③(エレガント)	・エレガント編(上品で優雅な印象)	●エレガントに見せるための化粧品の質感、色、フォルム、強さ、それぞれのテクニックを学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	5.イメージメイクアップ④(クール)	・クール編(知的な大人の女性の印象)	●クールに見せるための化粧品の質感、色、フォルム、強さ、それぞれのテクニックを学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	6.モデルのイメージに合わせたイメージメイク	・カウンセリングシート作成 ・カウンセリングシートに沿ったイメージメイクアップ	●モデルのイメージをとらえ、カウンセリングを行い、シートに沿ったイメージに仕上げられるように学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
3時間	7.パーソナルカラー理論	・パーソナルカラーの理論と自己診断	●ひとりひとりが理論をもとにテストドレープを用いて顔写りの違いを確認する	※テキスト ※スクール教材キット

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
6時間	8. パーソナルカラーを 応用したメイク	・ブルーベース ・イエローベース ・4シーズン	●イメージメイクの一例 として生まれもった自 分の顔を活かす色使い を学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	9. パーティーメイク	・衣装に合わせた華やかなメイ クアップやハロウィンなど のキャラクターメイク	●自由にメイクを楽しむ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	10. 悩み解決メイク	・カウンセリング方法 ・メイクアップアドバイス方法	●メイク前後で悩みが解 決できているかを確認 する	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	11. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●日本のトレンドメイ クイメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	12. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●コントゥアリングメイ クイメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	13. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●オルチャンメイ クイメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	14. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●チャイボーグメイ クイメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	15. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●モード系メイ クイメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	16. ヘアアイロン・ドラ イヤー・整髪料の使い 方	・イメージメイクに連動する前 髪や顔まわりの髪のアレ ンジ方法	●シチュエーションを定 義してそれに合わせた メイクアップと簡単な ヘアアレンジを学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
年間授業時間数				90時間

## 【実務経験のある教員等による授業科目】

教科目名	エステティック学科 I	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	エステティック概論、皮膚科学、解剖生理学、栄養学、ボディ実技理論、フェイシャル実技理論		
年間授業時間数	36 時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきエステティックの基礎・応用技術、知識を学び資格検定取得、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各種検定取得の目標達成のため所定の単位の修得を行っている。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容 (概要)	指導目標	備考
2 時間	1. エステティック概論	・エステティックの概念や歴史、産業としての規模と方向性、将来性、エステティックに関連する法律、業界の取り組むべき課題とその具体的な事例などを総合的に学習し理解する。	●自分の関わっていく業界について歴史、将来性などを理解する。関連する法律について学び、遵守することの大切さを学ぶ。	※日本エステティック業協会 ※エステティック概論テキスト
10 時間	2. 皮膚科学	・皮膚の構造・皮膚の生理機能及び臓器と栄養素との関係性・肌老化や疾患などを理解しトリートメントの際に対応できる知識を身につける。	●エステティックを施す際に必要な肌の基礎知識を学ぶ。皮膚の構造・生理機能を学ぶことで、エステティックの基本原則である「スキンホメオスタシス（皮膚の恒常性維持機能）」を高めることを理解する。	※皮膚科学テキスト
6 時間	3. 解剖生理学	・人体を構成する細胞、組織、器官、器官系について学びそれぞれの特徴や働きを理解する。筋肉の仕組み、免疫システム、アレルギーなどの仕組みを理解する。	●人の身体に触れて施術をする上で必要な基本的知識の習得をする。人体の構造と働きの基本を理解しエステティックサービスが正しく効果的に且つ安全に行えるようにする。	※解剖生理学テキスト
6 時間	4. 栄養学	・代謝の仕組み、栄養素について理解する。5 大栄養素、3 大栄養素とその働きを理解する。基礎代謝量、摂取エネルギー量について理解し、体重管理が行えるようにする。	●食物の栄養素と健康の関係を学び、エステティック施術に役立つアドバイスができるようになる。又、各項目をより深く熟知することで、お客様とのコミュニケーションを深め、エステティック効果を高められるようにする。	※栄養学テキスト

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
5 時間	5. ボディ実技理論	・ボディマッサージを行うにあたり、エステティシャンとしての心得を理解する。 6つの基本手技、手法、効果をそれぞれ理解する。	●ボディトリートメントを行う上でそれぞれのトリートメントの基本手技、目的、効果、禁忌事項を理解する。	※ボディ実技理論テキスト
5 時間	6. フェイシャル実技理論	・フェイシャルトリートメントの大きな3つの構成（クレンジング・機器トリートメント・マッサージ）を理解し、肌に合わせた施術の流れの構成の必要性を理解する。	●お客様の肌分析に基づき対応力のある施術とアドバイスができるエステティシャンを育てる。	※フェイシャル実技理論テキスト
2 時間	7. 期末試験	・一年次に学ぶべき基礎知識を中心に出題（前期・後期）	●基礎知識をどのくらい理解できているか把握させる。	
年間授業時間数				36 時間

## 【実務経験のある教員等による授業科目】

教科目名	色彩学	学科・学年	総合ビューティ学科 1年生
実務経験	あり <実務従事経験 10 年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	色の表示、光と色、色彩心理、色彩調和、ファッション、インテリア等の知識		
年間授業時間数	36 時間		
到達目標	A F T 色彩検定協会 色彩検定 3 級取得、および色彩の知識と技能を社会生活で役立てること		
成績評価の方法・基準	出席：30%、授業態度および課題提出：20%、期末試験：50%による総合評価		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
4 時間	1. 色を表す方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>色に関する基礎知識（イントロ）</li> <li>色相環（マンセル、PCCS）</li> <li>トーン図（PCCS）</li> <li>色を言葉で表す方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色に興味を持ってもらう</li> <li>覚えなければいけない図（マンセル、PCCS 表色系）の確実な習得</li> </ul>	
4 時間	2. 色と光	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の正体（：光）と光の性質 視覚のしくみ（目の構造、視細胞）</li> <li>色の見え方と照明（光源）の関係</li> <li>混色について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物理学、生理学、医学の知識が必要となる難解な部分。できるだけ分かりやすく、記憶に残るように指導</li> </ul>	
4 時間	3. 色と心理	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の持つ心理的効果</li> <li>様々な視覚効果（色が起こす現象）</li> <li>様々な知覚的効果（錯視）</li> <li>生活の中での色の働き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活に大きく関わりを持っている色の効果。それを知識として覚えるだけでなく、実生活で実践できるように指導</li> </ul>	
4 時間	4. 色の調和と効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>色相とトーンによる配色（カラーコーディネーション）</li> <li>様々な配色テクニックと効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色彩検定で最も大切となる「配色」。続く「ファッション」「インテリア」の配色の基本ともなる。確実に基本を押さえる</li> </ul>	
6 時間	5. 色とファッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファッション業界・ファッションビジネスの基本</li> <li>ファッションカラーコーディネーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●A F T 色彩検定協会の母体はファッション関連組織。検定試験でも問題数では最多の部分。配色に重点をおいて指導</li> </ul>	

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
3 時間	6. 色とインテリア	<ul style="list-style-type: none"><li>・ インテリアカラーコーディネーションの方法</li><li>・ インテリアと色彩効果</li><li>・ インテリアの色彩検討</li></ul>	●実生活でも活用できる「実用性の高い」領域。興味を引き出しながら記憶に残るように指導	
11 時間	7. 色彩検定・過去問題対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 直前の集中過去問題演習</li></ul>	●色彩検定には「傾向と対策」がある。多くの過去問にあたることで、それを感得させる	
年間授業時間数				36 時間

## 【実務経験のある教員等による授業科目】

教科目名	エステティック学科Ⅱ	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
実務経験	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	講義		
授業内容	心身生理学、化粧品学、サロンでの衛生・消毒、エステティック関連法規、サロンマネジメント、エステティックカウンセリング理論		
年間授業時間数	72 時間		
到達目標	トータルビューティを基本理念とし職業型実学教育に基づきエステティックの基礎・応用技術、知識を学び、資格検定取得、実務的な職業能力を高め即戦力となる人材育成。		
成績評価の方法・基準	学期末に期末試験を実施し、試験の結果一定の基準に達しない場合には追試験を行い、各種検定取得の目標達成の為所定の単位の修得を行っている。出席状況、授業態度も評価対象とする。		

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
10 時間	1. 心身生理学	・ホメオスタシス（恒常性維持機能）の仕組みを具体的に理解する。自律神経、免疫系、内分泌系の仕組みと働きを理解し、生体環境へのストレスについて考える。	●心と脳、神経との関わり、ストレスと食欲の関係、肥満との関連。肌に対しての影響を考え、実際にお客様へのアドバイスにつなげられるようにする。	※日本エステティック業協会 ※心身生理学テキスト
3 時間	2. 化粧品学	・医薬品医療機器等法を理解した上で化粧品、医薬部外品の役割と定義を理解する。化粧品に含まれる成分を理解する。	●エステティック技術を行うにあたり化粧品原料・成分の特徴効果の知識を深め、肌状態に合った化粧品に関するコンサルテーションができるようになる。	※化粧品学テキスト
3 時間	3. サロンでの衛生・消毒	・公衆衛生について歴史を含め理解する。エステティック業で行われる消毒と滅菌について理解し消毒方法全般に関する理解を深める。	●エステティシャンにとっての衛生管理の必要性を理解し、実践できるようにする。	※サロンでの衛生・消毒テキスト
2 時間	4. エステティック関連法規	・エステティック契約、施術に関連する様々な法律を学ぶ。日本エステティック振興協議会策定の「エステティック業統一自主基準」を理解する。	●エステティック業に従事するために、関連する法律の基礎知識を学び、エステティックの安心・安全の社会的意義と、その重要性を理解し、コンプライアンス（法令等の遵守）の意識を育てる。	※エステティック関連法規テキスト
3 時間	5. サロンマネジメント	・サロン運営における業務の流れや、商品説明のロールプレイング、お客様の目に留まるPOP作成などの実践をする。	●エステティシャンの接客に必要なホスピタリティマインド（おもてなしの心）を育てる。	※サロンマネジメントテキスト



時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
10 時間	6. エステティックカウンセリング理論	・エステティックサロンにおけるカウンセリングと心理学カウンセリングの違いを理解し、エステティシャンがアドバイスする行為をコンサルティングとして理解する。	●心理的カウンセリングの手法と、コンサルティングのアドバイスの要素をふまえたエステティックカウンセリングの全体を理解し、お客様の心に響くエステティックカウンセラーとしての意識を育てる。	※エステティックカウンセリングテキスト
39 時間	7. A E A 上級認定エステティシャン筆記試験対策	・ J E O 認証 A E A エステティシャン認定試験例題集の全問解説	●全問解説をし、反復練習をさせる。	※日本エステティック業協会テキスト全巻 ※ J E O 認証 A E A エステティシャン認定試験 例題集
2 時間	8. 期末試験	・ J E O 認証 A E A E エステティシャン認定試験と同範囲	● A E A 上級認定エステティシャン取得の為。	
年間授業時間数				72 時間

## 【実務経験のある教員等による授業科目】

教科目名	トレンドメイク	学科・学年	総合ビューティ学科 2年生
担当教員	あり <実務従事経験9年以上>		
授業方法	実習		
授業内容	・メイクアップ応用・印象別イメージメイク・モデルに合わせたメイクアップとそのアドバイス法		
年間授業時間数	90時間		
到達目標	幅広いメイクアップの応用を学び、技術を習得させる		
成績評価の方法・基準	実技・提出物・出席状況を総合としてA(80点以上) B(60点~79点) C(40点~59点) D(不合格)		

時間数	指導項目	指導内容(概要)	指導目標	備考
3時間	1.メイクアップにおける色.形.質感の表現	・色の三属性.イメージトーン.混色 ・メイクアップを表現する質感 ・形に錯覚.イメージ ・造形理論	●視覚的に例をあげ、美しさの演出に活かせるようイメージづくりの方法を学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	2.メイクアップの応用(イメージメイクアップの理論)	・イメージ別メイクアップ(キュート・セクシー・エレガント・クール)	●印象別イメージメイクについて学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	3.イメージメイクアップ②(セクシー)	・セクシー編(色っぽい大人の女性の印象)	●セクシーに見せるための化粧品の質感.色.フォルム.強さ、それぞれのテクニックを学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	4.イメージメイクアップ③(エレガント)	・エレガント編(上品で優雅な印象)	●エレガントに見せるための化粧品の質感.色.フォルム.強さ、それぞれのテクニックを学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	5.イメージメイクアップ④(クール)	・クール編(知的な大人の女性の印象)	●クールに見せるための化粧品の質感.色.フォルム.強さ、それぞれのテクニックを学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	6.モデルのイメージに合わせたイメージメイク	・カウンセリングシート作成 ・カウンセリングシートに沿ったイメージメイクアップ	●モデルのイメージをとらえ、カウンセリングを行い、シートに沿ったイメージに仕上げられるように学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
3時間	7.パーソナルカラー理論	・パーソナルカラーの理論と自己診断	●ひとりひとりが理論をもとにテストドレーブを用いて顔写りの違いを確認する	※テキスト ※スクール教材キット

時間数	指導項目	指導内容（概要）	指導目標	備考
6時間	8. パーソナルカラーを 応用したメイク	・ブルーベース ・イエローベース ・4シーズン	●イメージメイクの一例 として生まれもった自 分の顔を活かす色使い を学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	9. パーティーメイク	・衣装に合わせた華やかなメイ クアップやハロウィンなど のキャラクターメイク	●自由にメイクを楽しむ	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	10. 悩み解決メイク	・カウンセリング方法 ・メイクアップアドバイス方法	●メイク前後で悩みが解 決できているかを確認 する	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	11. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●日本のトレンドメイク イメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	12. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●コントゥアリングメイク イメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	13. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●オルチャンメイク イメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	14. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●チャイボグメイク イメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	15. トレンドメイク	・ファッションや流行、今話題 になっているメイクアップ を楽しむ	●モード系メイク イメージづくりの提案 と発表	※テキスト ※スクール教材キット
6時間	16. ヘアアイロン・ドラ イヤー・整髪料の使い 方	・イメージメイクに連動する前 髪や顔まわりの髪のアレン ジ方法	●シチュエーションを定 義してそれに合わせた メイクアップと簡単な ヘアアレンジを学ぶ	※テキスト ※スクール教材キット
年間授業時間数				90時間